

コロサイ書 2章 16-23 節「キリストにあって歩みなさい」

コロサイ人たちは、異端的な食物や祭儀および安息日の規定に振り回されていました。更には、御使い礼拝や禁欲主義の人間の戒めによる教えにも惑わされていました。しかし、私たちも彼らのようにキリストから離れる傾向があります。パウロはそんなコロサイ人たちに律法はキリストが来るための準備であり、人間が作った戒めと教えは滅びる物であることを説明しながら、キリストにとどまることを強く主張しています。

1. リーディング Reading 聖書を読みましょう

- ・しるしを付けながら、コロサイ人への手紙 2章 16-23 節を読みましょう。

「？」...疑問に思う語句や文章 「！」いいなと思う語句や文章

- ・なぜ疑問に思ったのか(「？」を付けた語句や文章について)、またどうしてその語句や文章がいいなと思ったのか(「！」を付けた部分について)、自由に分かち合しましょう。

【コロサイ書 2章 16-23 節】

16 こういうわけですから、食べ物と飲み物について、あるいは、祭りや新月や安息日のことについて、だれにもあなたがたを批評させてはなりません。

17 これらは、次に来るものの影であって、本体はキリストにあるのです。

18 あなたがたは、ことさらに自己卑下をしようしたり、御使い礼拝をしようとする者に、ほうびをだまし取られてはなりません。彼らは幻を見たことに安住して、肉の思いによっていたずらに誇り、

19 かしらに堅く結びつくことをしません。このかしらがもとになり、からだ全体は、関節と筋によって養われ、結び合わされて、神によって成長させられるのです。

20 もしあなたがたが、キリストとともに死んで、この世の幼稚な教えから離れたのなら、どうして、まだこの世の生き方をしているかのように、

21 「すぎるな。味わうな。さわるな」というような定めにとられるのですか。22 そのようなものはすべて、用いられれば滅びるものについてであって、人間の戒めと教えによるものです。

23 そのようなものは、人間の好き勝手な礼拝とか、謙遜とか、または、肉体の苦行などのゆえに賢いもののように見えますが、肉のほしいままな欲望に対しては、何のききめもないのです。

2. フォーカス Focus 焦点を絞りましょう

- ・内容観察：ここにはどんなことが書かれていますか？内容をまとめて自分のことばで言い表しましょう。

- ・フォーカス：当該聖書がフォーカスしていることは何ですか？（複数可）簡潔にまとめましょう。

3. スタディ Study 次の質問を手掛かりにして一緒に聖書を学びましょう

(1) (16 節) コロサイ人たちがキリスト以外のものに頼る傾向が描かれています。私たちはキリスト以外のどんなものに頼る傾向があると思いますか？

(2) (17 節) 食物等の規則はキリストが来たので、守らなくて良いとも読み取れます。では、クリスチャンはお酒を飲んだり、たばこを吸っても良いですか？日曜日に休まなくても良いと思いますか？仕事等の関係で休めない方もいますが、どうするのが良いと思いますか？

(3) (17-19 節) で、キリスト以外のものを頼ってしまう対策について、パウロはどうコロサイ人たちを励ましていますか？

(4) (20 節) コロサイ人たちはキリストを受け入れた時、「幼稚な教えから離れた」と言い、この世の価値観から解放された点を述べています。最近、キリストによって考え方や心が解放されたことがあれば、分かち合いましょう。

(5) (21-23 節) 現代の生活は禁欲主義の反対で、自己実現や自由奔放な束縛や規則をもたない傾向にあると思いますが、これもキリストに頼っていません。この傾向はどのように解釈すれば良いのでしょうか？

(6) 束縛や自己実現から解放されるために励ましあえることがあれば、福音の観点から励ましあいましょう！

4. アプリケーション Application 人生に適用しましょう

・この聖書の学びによって新しく知ったことや気づかされたことを自由に分かち合いましょう。